

第27回 世田谷合唱祭

講評及び会場から寄せられた感想

曲目 五月の朝の少女のうた 間所ひさこ作詞 中田喜直作曲
アヴェ・ヴェルム・コルプス モーツァルト作曲 河西保郎編曲

- ◎ 発声が大変良く、パートのバランスもよく、とても立派な合唱団
指導者の力量の素晴らしさがうかがえる。
コトバの表現も立派
ソプラノにもっと輝きが欲しい
ピアニストの耳も良く、全体のバランスをよく聞いている。
ヴィブラートがもう少し少なくなると尚よいが…
全体として、非常に素晴らしい合唱団。
- はじめて聞かせていただきました。強弱、メリハリ、等のつけ方がはっきりしており、また全体の声のまとまりが、とてもすばらしかったです。次から次へと合唱団がうたわれるので、印象づけるためにも、選曲の大切さを感じました。講評にも有りましたが、聞いている側と一緒に歌いたくなるような表現が、とても大切なのだと思いました。その点 みなさんの合唱団は、とても表情が豊かで聞いていて楽しいものでした。
- 素人さんばかりでしょうか？
今日、一番良かったうちの一つです。大変整っていてすばらしいと思いました。
それでも出来れば…ビブラートを控えると。
何かしら欠けるところがある中、ほとんどクリアーされていると思いました。

順不同(原文のまま)

美坂祐子作成